

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表: 令和06年06月30日

事業所名 イッペー

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	2	2			事業所内だけでなく、隣接する旧校舎(法人で借用。他の福祉サービス事業を運営)の一室やグラウンド、近隣にある農場など、広々とした環境の中で子ども達は活動しています。
	2	職員の配置数は適切である	1	3		人材確保に向け、ハローワークだけでなく、公民館等にも協力を求めています。	配置基準要件は満たしていますが実際の動きの中で不足を感じています。ご家族からも同様の意見があり、子ども一人一人に丁寧に扱われる体制づくりに努めています。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている			4		現在、手すりやスロープ等を必要とする子はいませんが、誰もが利用しやすい事業所を目指し、計画的に整備していきます。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している			4		自己評価初年度。評価結果を基に全職員が参画し業務改善計画を作成していきます。職員会議の中で改善計画の進捗状況を確認し、課題解決に向けて着実に進んでいけるよう努めます。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている			4		自己評価初年度。調査結果を基に、業務改善計画を作成し、改善に努めていきます。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している			4		自己評価初年度。事業所だよりやホームページ等で適切に公開していきます。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている			1	3	現在、第三者による外部評価は実施していません。今後、サービスの質向上を目指し、第三者評価の仕組み作りにも努めていきます。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	4				これまでは専門職等による内部研修を中心に実施してきました。今後は、外部研修にも力を入れ、引き続き、職員の資質向上に努めていきます。
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	2	2		送迎時など、保護者との日常のやり取りを大切にし、子どもの状態理解や、子・保護者のニーズ把握に努めています。	子どもや保護者等からの相談や面談の内容を記録に残し、その内容や対応に関する振り返りや、支援者間での共有に役立てるようにしています。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	4			「サポートノートえいぶる」を活用。えいぶるだけでは不足している情報に関しては独自のシートを活用しています。	子どもを理解するための基礎知識(定型発達、感覚統合、応用行動分析など)について、研修や自己研鑽により、職員一人ひとりの資質向上に努めていきます。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	2	2			様々な活動や行事を大人が決めて実施するのではなく、子ども達が中心となって計画、準備、実施していくことを大切にしています。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	2	2			
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	2	2			
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	2	2			子どもの状態理解及び、子どもや保護者のニーズを適切に把握する為にも、職員一人ひとりのコミュニケーションスキルや基礎知識(定型発達、障害特性、応用行動分析など)の向上が求められると考えています。支援者の資質向上に努めます。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	2	2		業務の前後及び週1回ミーティングを行い確認しています。	SWIHを明確にすることを常に意識しながら取り組みます。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	2	2		適宜、気づいた点を職員間で意見交換しています。	子ども達の成長や変化が理解でき、職員の業務負担にも考慮した記録のあり方について検討し、より良い支援環境の構築に努めます。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	2	2			
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	2	2		保護者の皆様にも協力して頂き、毎週金曜日の午前中は職員会議を行っています。	変化が著しい子ども達の状態を適切に把握・共有し支援を検討する場として、週1回職員会議を行っています。
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	2	2		全職員にガイドラインを配布し、適宜、確認できるようにしています。	ガイドラインの読み合わせなど、適宜、その内容について確認する場を設け、職員一人ひとりの理解が深まるよう努めます。	

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
関係機関 や保護者との 連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者 会議にその子どもの状況に精通した最もふ さわしい者が参画している	2	2		児童発達支援管理責任者以外にも、子どもや、その子の状況 に応じて会議への参加者を決めています。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等 の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡 調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連 絡)を適切に行っている	2	2		情報共有がやれている学校とそうでない学校があります。学 校での様子の確認や、事業所での様子を伝えるなど、積極的 にコミュニケーションを図り、情報共有が円滑になるよう努め ます。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場 合は、子どもの主治医等と連絡体制を整え ている		4		現在、医療的ケアが必要な子を受け入れる体制(看護師の配 置など)が整っていません。子どもの疾患や感染症に対する 基礎知識について、職員研修等で身に付けていけるよう努め ていきます。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認 定こども園、児童発達支援事業所等との間 で情報共有と相互理解に努めている		4		保護者や相談支援事業所からの情報のみで、就学前の関係 機関との関りが充分ではありませんでした。今後、改善に努 めてまいります。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業 所から障害福祉サービス事業所等へ移行す る場合、それまでの支援内容等の情報を提 供する等している	2	2		これまで対象事例はおりませんが、事業所の移行により支援 が途切れてしまわないよう、適切に情報を整理し、移行がス ムーズに行えるよう努めていきます。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援セ ンター等の専門機関と連携し、助言や研修 を受けている		4		これまでは法人内部の専門職に依頼し内部研修を中心に 行ってきました。今後は、外部研修にも力を入れ、関係機関等 とのネットワークづくりにも努めていきます。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障 がいのない子どもと活動する機会がある	4			町からの委託事業である「拠点型子どもの居場所運営事業」 も運営していることから、障害の有無に関わらず、日常的に共 に活動し交流する場面があります。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加 している		4		自立支援協議会への参加はないが、要保護児童対策地域協 議会には定期的に参加しています。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合 い、子どもの発達の状況や課題について共 通理解を持っている	2	2		送迎時の対面でのやり取りや、LINE・電話などの連絡ツール を活用し、子ども達の状況を保護者様と共有できるよう努めて います。
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保 護者に対してペアレント・トレーニング等の支 援を行っている	2	2		ペアレント・トレーニングの研修会等は行っていないが、職員 の中に受講者がいます。日常業務や、保護者からの子育て相 談に役立てています。	
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等につ いて丁寧な説明を行っている	2	2	運営規定や重要事項説 明書について、適宜確 認できるよう全職員に配 布しています。	今後も、わかりやすく丁寧に説明することを心がけていきま す。また、管理者や児童発達支援管理責任者だけでなく、全 職員が適切にお答えできるよう、運営規定や重要事項説明等 の内容について、全職員が周知できるよう努めていきます。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談 に適切に応じ、必要な助言と支援を行って いる	2	2		ご相談を頂く機会が度々あります。適切な助言ができるよう、 子どもの成長・発達に関するサポート力の向上に努めていき ます。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等 を開催する等により、保護者同士の連携を 支援している		4		これまで、保護者会のような保護者の皆様が集まる機会を充 分に企画する事が出来ていませんでした。今後は、そのよう な機会を計画的に実施していきたいと考えております。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応 の体制を整備するとともに、子どもや保護者 に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適 切に対応している	3	1		子ども達や保護者の方からの苦情やご意見を頂いた場合は、 真摯に受け止め対応致します。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事 予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者 に対して発信している	3	1	毎月、事業所だよりを発 行しています。LINEを活 用した情報発信も行っ ています。	紙媒体での発信だけでなく、LINEを活用した情報発信など、 保護者の皆様により確認しやすくなるよう努めていきます。
	35	個人情報に十分注意している	1	3	個人情報記載された 書類は鍵付きキャビネ ットに保管しています。	今後も、個人情報の取り扱いについては細心の注意を払い対 応してまいります。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎 通や情報伝達のための配慮をしている	1	3		子ども達の「理解のしやすさ」「伝えやすさ」を常に意識し、写 真や絵カードなどの活用や工夫をしていきます。保護者に対 しても、より円滑な意思疎通、情報伝達に努めていきます。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等 地域に開かれた事業運営を図っている	2	2		新型コロナウイルスの流行を受け、行事等を自粛する事が多 くありました。今後は、感染症の流行状況に注意を払いなが ら、行事等の企画を行ってきたいと考えております。

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
非常時 等の 対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している		4			保護者への周知が不足しているので改善に努めます。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	2	2			子ども達が命を守る行動を身に付けていけるよう、計画的に学習や訓練機会を設定し、実施していきます。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	2	2			研修計画を作成し、適切に研修が行えるよう努めます。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	1	3			現在対象者はいませんが、やむを得ず身体拘束を行う場合、身体拘束適正化委員会による組織的な検討や、保護者への説明と同意、個別支援計画への明記など、必要な手続きを適切に行います。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている		4		保護者からの基礎情報を基に対応しています。	アレルギー以外にも、子どもに多い疾患や感染症などについて、職員研修等を通して理解を深めるよう努めていきます。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	2	2		ヒヤリハット報告書による共有だけでなく、週1回のミーティングでも、事案を報告し共有しています。	